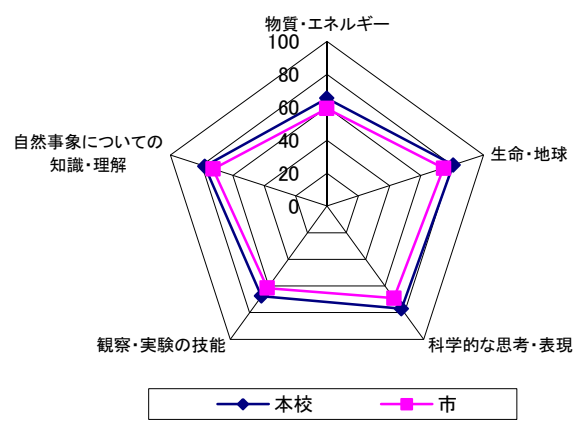


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	65.5	59.3
	生命・地球	80.7	74.4
観点別	科学的な思考・表現	77.1	69.2
	観察・実験の技能	67.6	61.6
	自然事象についての知識・理解	78.0	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・平均正答率は65. 5%で、市平均正答率59. 3%を6. 2%上回っている。しかし、「水のすがた」では、4問中3問で市の平均正答率を下回っている。水を温めた時の状態の変化、温度の変化、沸騰石を入れる理由などについての理解が十分ではない。	・「水のすがた」について、プリント等をとおして学習内容について振り返る。また、実験の際には必ず予想を立てるなど見通しを持って活動したり、実験結果についての考察をしたりして、実験やその結果についての理解がさらに深まるようにしていく。
生命・地球	・平均正答率は80. 7%で、市平均正答率74. 4%を6. 3%上回っている。ほとんどの問題で市平均正答率を上回っている。顕微鏡の使い方や天気の変化に対する理解については上回っているが平均正答率が低く、十分に理解しているとは言えない。 ・「魚のたんじょう」については生き物に対する興味が強く、メダカについてよく理解している。	・一人一人の実験の技能を確実なものとするため、できる限り全員が体験できるような実験の道具や場を設定したい。また、実験の手順や注意事項などにも触れ、正しく実験が進められるようにしていく。 ・生き物に対する興味が強いので、好奇心に訴えることができるような内容を検討したり、教室環境を整え、命の対する畏敬の念などについても育てたいと考えている。